

<平成29年度 ハローオリピズム事業>

# オリンピック教室

実施報告書

埼玉県 三郷市立彦糸中学校

Olympic  
Movement



公益財団法人日本オリンピック委員会



現行の学習指導要領は平成21年（2009）4月に公示され、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目 体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが明確化されました。そこには、中学校3年生の保健体育の「体育理論」の学習内容に、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会等は、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていること」とオリンピックの意義が明示されております。

これを受けて日本オリンピック委員会（JOC）では、平成23年度（2011）から、体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、「ハローオリンピズム事業」の一つとして、授業形式で行う「オリンピック教室」を実施しております。

近代オリンピックの創始者ピエールド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表として実際にオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その栄誉を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められております。このようなオリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることも期待しております。

「オリンピック教室」の授業は、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）及びオリンピック精神の教育的価値等を伝えます。また同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身に学習してもらうこともねらいとしております。

平成23年に施行された「スポーツ基本法」の前文の一部に「スポーツは、世界共通の人類の文化であり、次代を担う青少年の体力を向上させるとともに、他者を尊重しこれと協同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培い実践的な思考力や判断力を育む等人格の形成に大きな影響を及ぼすものである」との記述があります。生徒のみなさんが「オリンピック教室」で学習する内容は、まさにこの基本法に記された精神や態度等を日常生活の中へ具現化することを後押しするものであると考えています。

平成29年4月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- 実施目的** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、オリンピック自身の様々な経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、日常生活にも活かすことの出来るものであることを授業を通して学習してもらう
- 名 称** : JOCオリンピック教室
- 主 催** : 公益財団法人 日本オリンピック委員会
- 後 援** : スポーツ庁
- 協 力** : 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対 象** : 中学2年生
- 講 師** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）  
※派遣オリンピックはJOC側にて選定
- 期 間** : 平成29年4月～平成30年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数** : 50校程度
- 実施方法** : クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1時限目  
運動の時間 (50分)



2時限目  
座学の時間 (50分)



※学校の通常の授業時間をベースに実施  
※運動の時間と座学の時間の間に10分の休憩時間があります



## 1時限目

### 運動の時間

オリンピックの専門競技の技術指導（＝スポーツ教室）ではなく、  
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

#### 挨拶（5分）

#### 準備体操（10分）

#### 主運動（30分）

#### まとめ（5分）



自己紹介  
今日の学習内容の確認



準備体操



主運動  
（作戦タイム等）を設け、  
生徒が考える機会を作る



運動の授業のまとめ

※時間は目安です  
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

## 2時限目

国際オリンピック委員会（IOC）が推進する「オリンピックの価値」等を、  
オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際に  
オリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると  
同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に活かせるような学習内容

### 座学の時間

#### 挨拶・自己紹介（10分）

#### オリンピックの価値を伝える（10分）

#### グループワーク（20分）

#### まとめ（10分）



学習内容の確認



写真・映像等を使用  
した自己紹介



オリンピック自身の経験に  
基づく「オリンピックの価値」等  
を伝える



グループ（個人）ワークで  
話し合った内容を発表



全体のまとめ/記念撮影

※時間は目安です  
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます



- 期 日 : 平成29年7月11日 (火)
- 場 所 : 三郷市立彦糸中学校
- ク ラ ス : 2年1組 (29名)、2年2組 (30名)
- オリンピアン : 石野 枝里子 先生 (スケート・スピードスケート)
- 授業のながれ : 運動の時間 (1時限、3時限)

1. 自己紹介～授業の目的確認



- ・石野先生から自己紹介をした後、今日はオリンピックやオリンピズム、オリンピックバリューについて知ってもらいたいと、授業の目的を確認。
- ・運動、座学の時間を通して「全力で取り組むこと」、「協力し合うこと」、「人の話をよく聞くこと」の3つの約束を意識して取り組むよう伝え、準備体操に移る。

2. 準備体操



3. 主運動



- ・3班に分かれて8の字跳び(90秒×3回、2組は2回)を実施。制限時間内で跳んだ回数を競い、引っかけても続きから数えることとする。
- ・各回終了後、跳べた回数を発表。石野先生より掛け声を大きくし、気持ちを1つにしよとアドバイスがあり、ほとんどの班が前回の記録を更新することができた。

4. まとめ



- ・一生懸命取り組むこと、1つの目標に向かって協力することの大切さを伝え、授業終了。

■ 授業のながれ： 座学の時間（2時限、4時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



- ・運動の時間を活かしてオリンピックについて学ぼうと授業の目的を確認。
- ・オリンピックにはオリンピズムという人として成長するための理念があると話し、自身の経験を通して3つのオリンピックバリューについて説明。

2. オリンピックの価値を伝える



3. グループワーク



- ・学校や日常生活、運動の時間で感じるオリンピックバリューを考えよう。
- ・継続、練習を頑張る(エクセレンス)、声を掛け合う、相手のことを考える、チームワーク(フレンドシップ)、先生に挨拶する、支えてくれる人への感謝の気持ち(リスペクト)等の意見が挙げられた。



4. まとめ



- ・今後、様々なことを学び成長していく中で、運動の時間で実践したオリンピックバリューを意識しながら考えてほしいと伝える。
- ・2020年には東京でオリンピックが開催されるが、2018年の平昌大会でもこの3つのバリューを考えながら観戦してほしいと伝え、授業終了。





- 期 日 : 平成29年7月11日 (火)
- 場 所 : 三郷市立彦糸中学校
- ク ラ ス : 2年3組 (29名)
- オリンピック : 坪井 保菜美 先生 (体操・新体操)
- 授業のながれ : 運動の時間 (5時限)

1. 自己紹介～授業の目的確認



・実際にリボンの演技を見せながら坪井先生から新体操について紹介した後、授業の目的を確認。運動の時間は皆と楽しく取り組みたいと話す。授業を通して「全力を尽くすこと」「友達意見を聞くこと」の2つを約束し、準備体操に移る。

2. 準備体操



3. 主運動



・3班に分かれて8の字跳び(90秒×2回)を実施。90秒間に連続して跳べた回数を競い、引っかけたら50から数えることをルールとする。各回終了後、回数を発表。坪井先生より失敗してもお互いに責めることなく、励まし合って協力することの大切さを伝えた。

4. まとめ



・運動の時間に取り組んだことがどのようにオリンピックに繋がっていくのかを座学の時間で話すとし、運動の時間を思い出しながら聞いてほしいと伝え、授業終了。



■ 授業のながれ： 座学の時間（6時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



- ・坪井先生から改めて自己紹介をした後、オリンピックや新体操について知ってもらいたいと授業の目的を確認。
- ・3つのオリンピックバリューについて自身の経験を基に説明。夢、目標、好きなこと、興味があることを皆も考えてほしいと話す。

2. オリンピックの価値を伝える



3. グループワーク



- ・今持っている夢や目標を実現させるためにどんなことができるか、どんなことが必要か考える。
- ・ライバルに負けない努力をする、あきらめない(エクセレンス)、仲間感謝する、相手を思いやる(フレンドシップ)、親に感謝する、挨拶する(リスペクト)等の意見が挙げられた。

4. まとめ



- ・今日話し合った意見や考えを今後も大切にして、夢や目標を持っている人はあきらめずに努力をすることで成長につながると話す。坪井先生は競技引退後も指導者として様々なことを学ぶ姿勢を持ち、勉強を続けている。皆にも夢が叶ったから終わりではなく日々学んで成長してほしいと伝え、授業終了。



■ 集合写真

2年1組



2年2組





■ 集合写真

2年3組



■ 記念品贈呈

2年1組



2年C組



2年2組



■ 証明書贈呈

